

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな 経済フラッシュ

## (日銀緊急金融政策決定会合)

2020/3/16

りそなホールディングス 市場企画部

### 〇概況

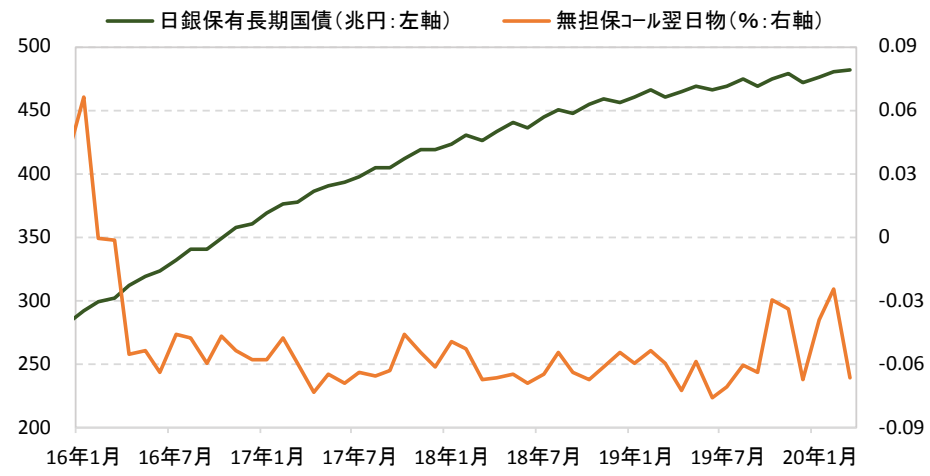
- ◆ 日銀は決定会合を前倒しで実施し、新型肺炎への対応として、ETF、J-REIT、CP、社債の資産買入を積極化することを表明
- ◆ FRBの緊急利下げ、本日23時からのG7緊急会合を控え、日銀としてもできる限りの対応を実施したもの
- ◆ 実際に日銀がどの程度買入を積極化するかについては今後のオペレーションで確認することとなる

- ✓ 日銀は本日18-19日に予定していた決定会合を前倒しで実施。新型肺炎への対応として、ETF、J-REIT、CP、社債の買入れを積極化する方針を示した（詳細は下表）。本日、早朝にFRBが緊急で1%の利下げを実施。また、本日日本時間23時にG7緊急会合を控えていることから、日銀としてもできる限りの対応を示したものの。
- ✓ また企業の資金繰り支援策として、民間企業債務を担保とした、最長1年間、金利0%の新たな企業金融支援オペを導入。一部に期待されていたマイナス金利での貸出は見送られた。
- ✓ 資産買入の規模は上限額として市場予想を大幅に上回る設定となったが、今後実際のオペレーションにより日銀の積極性を確認することになる。

	変更前
ETF	年間約6兆円増加ペース
J-REIT	年間約900億円増加ペース
CP	約2.2兆円残高維持
社債	約3.2兆円残高維持

	変更後
ETF	年間約 <b>12兆円</b> 増加ペースを上限（ <b>原則は現状維持の約6兆円</b> ）
J-REIT	年間約 <b>1,800億円</b> 増加ペースを上限（ <b>原則は現状維持の約900億円</b> ）
CP	<b>CPと社債を合わせて追加買入合計2兆円</b>
社債	上限はCP約3.2兆円、社債約4.2兆円

【日銀が保有する長期国債残高と翌日物金利】



【2019-2021年度の政策委員の大勢見通し（1月時点）】

	実質GDP (対前年度比、%)		消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げ・ 教育無償化政策の 影響を除くケース
2019年度	+0.8% ~ +0.9%	< +0.8% >	+0.6% ~ +0.7%	+0.4% ~ +0.5%
10月時点の見通し	+0.6% ~ +0.7%	< +0.6% >	+0.6% ~ +0.8%	+0.4% ~ +0.6%
2020年度	+0.8% ~ +1.1%	< +0.9% >	+1.0% ~ +1.1%	+0.9% ~ +1.0%
10月時点の見通し	+0.6% ~ +0.9%	< +0.7% >	+0.8% ~ +1.2%	+0.7% ~ +1.1%
2021年度	+1.0% ~ +1.3%	< +1.1% >	+1.2% ~ +1.6%	+1.4%
10月時点の見通し	+0.9% ~ +1.2%	< +1.0% >	+1.2% ~ +1.7%	+1.5%

【出所】日本銀行、Bloomberg

◎注意事項  
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。